

令和6年 能登半島地震 活動報告書

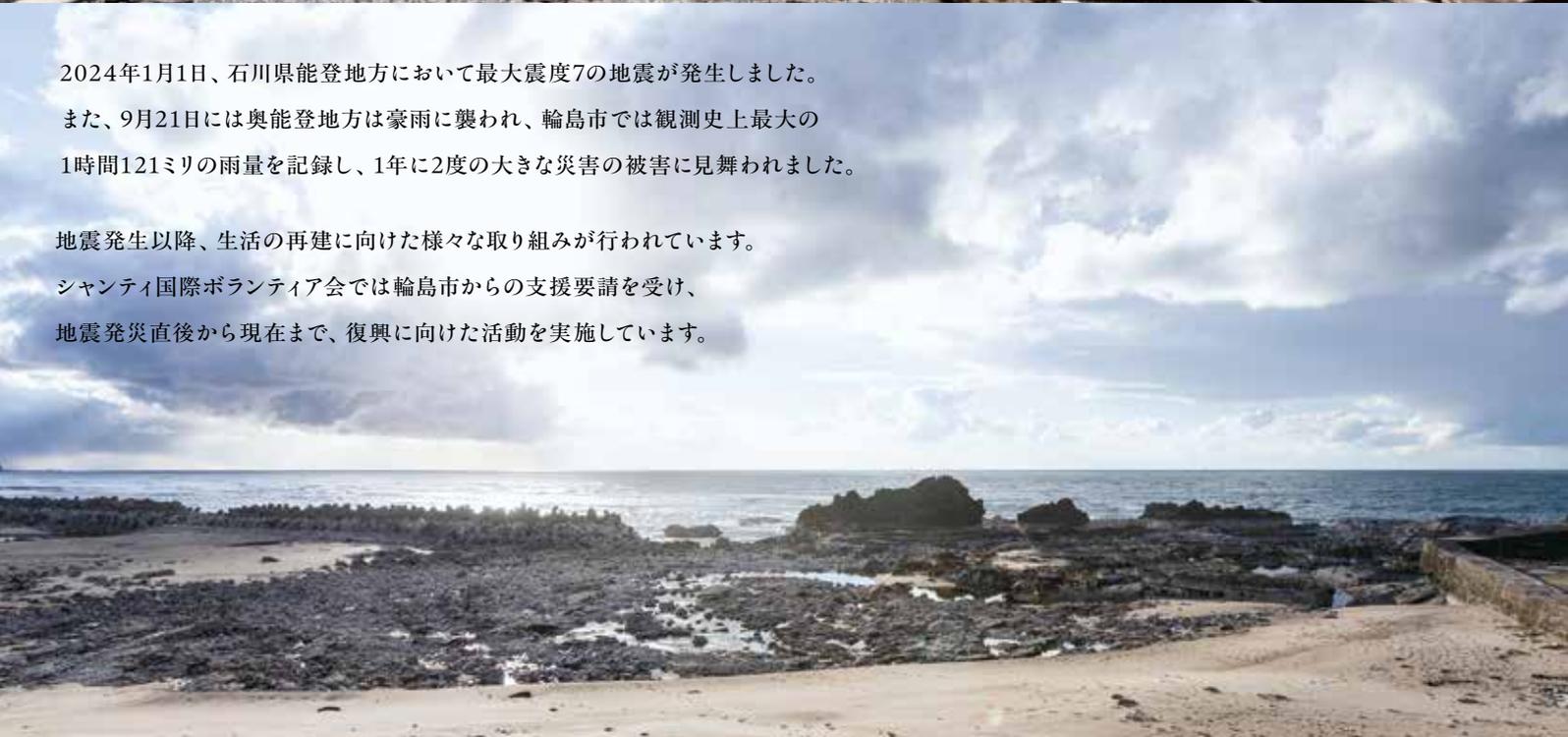


2024年1月1日、石川県能登地方において最大震度7の地震が発生しました。
また、9月21日には奥能登地方は豪雨に襲われ、輪島市では観測史上最大の
1時間121ミリの雨量を記録し、1年に2度の大きな災害の被害に見舞われました。

地震発生以降、生活の再建に向けた様々な取り組みが行われています。

シャンティ国際ボランティア会では輪島市からの支援要請を受け、

地震発災直後から現在まで、復興に向けた活動を実施しています。



ごあいさつ

2007年の能登半島地震からようやく立ち上がろうとして、復興途上にあった能登に再び巨大地震が襲うことなど、だれが予想したでしょう。輪島朝市の火災、海岸隆起の状況、建物の倒壊など、その惨状に自然災害の恐ろしさに押しつぶされそうになり、今度こそ復興は無理ではないかと思っただ方もいたのではないのでしょうか。

こうした中でシャンティは、発災後まもなく職員を派遣し、避難所の運営補助にあたりながら、輪島市門前町にある禅の里交流館の一角を事務所兼宿泊所として借り受け、支援活動にあたりました。避難所における足湯、配食活動、入浴支援車

の配車など、被災された方々に寄り添い、ニーズを拾い、つなぎながら支援活動を継続して参りました。

現在は、輪島市立図書館との協働で、仮設住宅などへの移動図書館活動を行い、併せて、テントや椅子を設置し、コーヒーなどの飲み物を提供し、ほっと一息つける居場所づくりもしています。

いずれにしても一人では何もできませんが、能登を愛する皆さんの結束力により、復興していけるはずだと信じています。

会長

若林恭英

地震による被害状況(2025年5月12日時点、内閣府)

死者:592人(うち災害関連死364人)

負傷者:1,989人

住家被害:164,665棟

豪雨による被害状況(2025年7月18日時点、石川県)

死者:17人(うち、災害関連死1人)

負傷者:64人

住家被害:1,891棟

発災後のシャンティの動き

2024年

- 1月1日 令和6年能登半島地震発生、情報収集を開始
- 1月4日 募金受付を開始
- 1月6日 職員を石川県に派遣
- 1月7日 七尾市で物資配布、調査を実施
- 1月9日 輪島市より支援要請書を受け取る
同日、輪島市門前町入り
- 1月13日 輪島市門前町での活動を開始
門前公民館にて避難所の運営サポート、炊き出しを開始
- 1月15日 炊き出し調整、避難所環境改善など、
輪島市門前町での外部支援調整を
門前町総合支所と連携し開始
- 1月19日 足湯・サロン活動を開始
- 1月29日 七浦地区、劔地地区対象の
入浴・買い物支援車の運行開始(~5月30日)
- 2月29日 ボランティアを受け入れ、家屋片付けの活動を開始
- 3月1日 セントラルキッチン方式による
食の支援を開始(~4月30日)
- 7月 輪島市立図書館と連携し、移動図書館活動を開始
- 9月21日 奥能登豪雨発生。避難所受け入れのサポート、
炊き出し等による支援を開始(~11月8日)

2025年

輪島市での移動図書館活動を継続中

活動地の動画



輪島市門前町の被災状況

地震発生直後の町の様子や、復旧・復興のために力を尽くす地元の方々のお声をお伝えしています



動画はこちらから
ご覧いただけます



輪島市門前町での活動

シャンティの復旧期における活動の様子と、現場で支援にあたる職員や地元の方々のお声をまとめました



動画はこちらから
ご覧いただけます



仮設住宅・公民館での移動図書館

「ほんねんてブックカフェ」の活動交流や日常に戻るきっかけづくりとして始まった移動図書館活動。この活動を共に担う図書館職員や、利用者の方々の声を紹介しています



動画はこちらから
ご覧いただけます



ご支援いただいた皆さま (順不同、敬称略)

曹洞宗、立正佼成会一食平和基金、
特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム、日本財団、
赤い羽根共同募金、Yahoo!基金
その他、300人を超える個人・団体のみなさまにご支援いただきました。
この場をお借りして御礼申し上げます。

決算報告 (2024年1月4日~12月31日)

項目	金額
収益	
令和6年能登半島地震へのご寄付	55,463,570円
補助金(特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム)	21,984,596円
収益合計	77,448,166円
費用	
費用合計	31,571,124円

国内緊急人道支援寄付金残高 45,877,042円

*2025年以降の事業費に充当します

シャンティ国際ボランティア会とは

1981年に設立したアジアを中心に活動する、日本生まれのNGOです。子どもたちへの本を通じた教育文化支援、日本国内外の災害や紛争後の緊急人道支援を行っています。

シャンティ国際ボランティア会は特定公益増進法人の認定を受けています。国内緊急人道支援活動へのご寄付は、税制上の優遇措置(寄付金控除)が受けられます。詳しくは弊会またはお近くの税務署か税理士にご相談ください。

令和6年能登半島地震 | 2024年度活動報告書

2025年8月12日発行
公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 国内事業課
〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3F
Tel 03-5360-1233 Fax 03-5360-1220
E-mail shinsai@sva.or.jp | URL: https://sva.or.jp/
デザイン: 保田卓也 写真協力: 川畑嘉文

シャンティの活動内容と被災された方の声

① 避難所運営・避難所環境改善

最大200名ほどが避難をしていた門前公民館の避難所の運営のサポートをしました。避難所では感染症が流行していたため、感染者のゾーニングや、公民館前に設置された仮設トイレの清掃、食事の配膳のサポートなどを行いました。

門前町に開設された避難所の環境改善のため、段ボールベッド、空気清浄機、プライバシーテントなどを提供しました。また、長期の断水で布団のクリーニングができず布団交換のニーズが高まっていたため、福祉避難所を中心に敷布団、掛布団や毛布などをお届けしました。「今年(3月初旬)初めて布団で寝ることができた」「久しぶりにいびきをかいてぐっすり寝ていた」という声を聞くことが出来ました。

避難所環境改善実績

段ボールベッド47台、1カ所に空気清浄機3台、3カ所にプライバシーテント4張り、5カ所に冷蔵庫10台を配布、200人へ寝具提供

② 炊き出し調整・実施

支援団体や行政と協力し、必要としている方たちに食事が行き渡るよう、門前町全体の炊き出し依頼と避難所とのマッチングの仕組みづくりと調整を行いました。また、門前町の住民グループ「門前みんなのごはん」メンバーと協力し、自主避難所や在宅避難をしている方たちに、セントラルキッチン方式で炊き出しを実施しました。炊き出しの配布時には、あわせてお困りごとの聞き取りを実施し、必要な支援につなげました。炊き出しを受け取った方からは大変好評で、多くの感想を受け取りました。

「いつもいろいろおいしいお弁当をありがとうございます、お弁当を頂くのもとてもうれしいことですが、家にいて一人で話すことも会うこともない毎日に、久しぶりに会う人や笑う声・話す声を聴くと少し元気になるように思います」

「町の中心部から離れていることもあり、物資・炊き出し・配食など、数が少なく特に今回の配食は初めてのことでとてもありがたかったです。集落の人に配って回ると、道端で配食を待っているお年寄りの方も何人かいて、皆さん心待ちにしているんだと思いました。お野菜もたくさんで優しい味ですね」

「何種類もおかずをたくさん作って詰め合わせ持ってきてくださるのは本当にありがたいです。高齢者も多いので、水が来たとはいえ野菜不足や栄養不足を心配しています。時々でも皆さんの心のこもったお弁当は本当にうれしいです」

「助かりました。ほかの地区ですが家の前を出て、区長さんが持ってきてくださるのを楽しみに待っていた方もいたというお話を聞きました」

炊き出し調整の実績

87件、14,311食

炊き出しの実績

14回、3,919食

セントラルキッチンの実績

門前町8地区18カ所(自主避難所、在宅避難者宅、福祉避難所等)、34回、9,213食



① 助かっています。震災によって一時体重が10kg減り、筋肉の衰えを感じていました。門前みんなのごはんのおかげでバランスの取れた食事がとれ、今は5kg増えました。肉や野菜がしっかりと入っていておいしいです。



② 最近、仮設住宅に入ることになったの。これまで家で何とか過ごしていたけれど、もう住めないなと思っで壊すことにした。引越したら(移動図書館が来る)公民館が前より近くなるから、また来るね。



③ (お花の本を借りて、以前は家で花をたくさん育てていた。震災後、家がつぶれてしまいいま2年も触れなくなつたから、花の名前も忘れてしまつた。暇を見つけてこの本で勉強しないとだね。



⑥ 重松清さんの「また次の春へ」を読んだの。東日本大震災を題材に書いて、泣けて泣けて次のページをめくるのが大変だった。ぜひ読んでみて欲しい。



① 水も来ない中大変助かりました。自分が普段作らないメニューで毎回楽しめました。



③ おいしかったです。



④



⑦



② 毎日片づけや仕事などで疲れ、食事や栄養を考えた作りやすくて大変でした。1日1食でもお弁当が届くことがうれしく思いました。



③



⑤



⑦

本が好きだから、チラシで図書館が見て来てみたんだ。住まいは仮設住宅だし、本を沢山集めることは出来ないかな。でも、これからは毎月いろいろな本を借りて読んでみるよ。

③ サロン活動(足湯・お茶会)

避難生活が続く中、少しでもゆったりできる時間を過ごしてもらうために、足湯を含むサロン活動を行いました。また、他団体のサロン活動実施のためのサポートをしました。避難初期は、自衛隊のお風呂までの移動が難しい方も多く、慣れない環境での生活が続いていました。足湯を受けて「避難生活の疲れが一時でも和らいだ」「心のもやもやを聞いてくれて嬉しかった」、サロンに参加して「久しぶりに片付け作業のために地元に戻ってきて、知り合いと話が出来て良かった」という声が届きました。

シャンティ及び関係団体がシャンティの調整で実施したサロン活動実績(2025年4月16日時点)

291回、延べ3,454人参加

④ 入浴・買い物支援車の運行

門前総合支所からの依頼を受け、自衛隊によって設置されたお風呂への移動が困難な2地区を対象に、入浴・買い物支援車の運行を実施しました。入浴介助が必要な方のためのタクシーも運行しました。「41日ぶりにお風呂に入ることができた」「[じんのび]だね」(のんびり、くつろぎの意味)という声も聞かれました。

運行実績

2地区、59回、利用者321人

⑤ 地域支援地元の復興祭りの開催サポート

復興祈念イベントとして、地元の若手有志グループが主催した「雪割草まつり」のサポートを行いました。二次避難所と会場間のシャトルバスの運行や、連携団体の紹介、当日の手伝いを行いました。地震以降、子どもから大人まで多くの人が集まるはじめての機会となり、久々の再会を喜び合う姿も見られました。

⑥ ボランティアによる活動

大学や研究室と連携し、学生を中心にボランティアを受け入れられました。主に、被災した家屋の片付けやがれき撤去の活動のほか、仮設住宅の集会所でのサロンなど、時期に合わせた活動も実施しました。

⑦ 移動図書館活動「ほんねんでブックカフェ」

被災した輪島市立図書館と協力し、住民の方々が集まる場所づくり、日常に戻るきっかけづくりを目的に、輪島市内の仮設住宅や公民館など約13カ所へ移動図書館の巡回を実施しています。本の閲覧と貸し出しに加え、お茶飲みスペースも準備し、参加者がほっとできる場所を提供しています。「こんな時だからこそ、本はいいね」「待ってました、図書館!楽しみにしていたよ」「移動図書館が毎月の楽しみ」と、巡回を楽しみにする声が聞かれます。

運行実績

132回、利用者1,012人、貸出1,453冊(2025年7月23日時点)